



介護あんしん 相談員だより

第34号 平成30年5月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見え気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつか紹介します
(平成30年2月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：体操をされていましたが、スタッフさんが側に行き、手を取って対応していてとても良かったです。

施設：毎朝10時半よりフロアで体操を行っています。利用者さまはこの体操を楽しみにされています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



体操をされていたフロアは重度の方が多く、スタッフさんの“是非やってみよう”という発案のもと始まった体操だそうです。

スタッフさんが音楽に合わせて体操を行われていますが、スタッフさんによっては少し工夫をした声かけや動きを取り入れられていたようです。

リハビリ体操を音楽に合わせて、一人一人に声かけをされ、歌・ストレッチと進むうちに利用者さまに変化が出てきて、表情にも笑顔が見られるようになり、とても楽しまれている様子が伝わってきたそうです。

重度の方には車いすの方なども多数いらっしゃると思いますが、それでも少し体を動かすようにすることは大切だと思います。昨日は動かさなかったけど、今日は昨日より2cm手が上がったなど昨日よりも今日と出来る事が増えていくことは、利用者さまやスタッフさんの喜びに繋がっていくのではないのでしょうか。

相談員：テレビはいつもついていませんね。

施設：テレビにお守りをさせないために付けていません。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では、テレビを観ているのは朝の職員の起床介助の時と相撲の時間程度ですが、日曜日にはのど自慢を観ることで曜日の確認になっているそうです。

それぞれ施設の考え方もありますが、テレビをつけたままにしてお互いに会話や活動をする事が少なくなるのかもしれないですね。

また、居室から聞こえる利用者さまとスタッフさんの会話が非常に優しく、入浴の準備も利用者さまと一緒に「スカーフはどれにする？」と相手の答えを待っての会話をされていたそうです。スタッフさんはとてもお忙しいと思いますが、利用者さまの気持ちに寄り添った対応をしていく事は、お互いに介護をスムーズに出来る方法なのではと改めて感じさせられました。

～利用者さんのご家族の声より～

ご家族：今の施設で入れ歯を合わせてもらって食べられるようになり、良くて頂くので安心して頂いています。

施設：入居されて直ぐ歯科治療をお勧めし、義歯を調整しました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



相談員が訪問した際に、Kさんがりんごを“シャリシャリ”と自分で召し上がっておられたので、「硬いものでも食べられるんですね。」とお尋ねしたところ、ご家族から「以前の病院では自分で噛んで食べる事は出来なかったけど、こちらの施設で歯科治療を勧めて頂き入れ歯を調整し、合うようになってから、小さく刻むと上手に食べられるようになりました。」ということでした。Kさんは歯の調子が良くなり、もともと食べることがとても好きな方なので、ご家族にご用意頂いた嗜好品を食べて楽しんでおられるそうです。

義歯を合わせることで、口からしっかり栄養が体の中に入り、徐々に体力もついて活動も出来るようになれるのではないのでしょうか。栄養が摂れてくると脳へも栄養が届き認知症の悪化が少しでも緩やかになるのではないのでしょうか。

歯の噛み合わせの改善は、転倒予防、認知症の悪化予防、低栄養予防など大きく影響する事が考えられますね。歯科治療をお勧め頂き本当にありがとうございました。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。ご利用ください。